

平成28年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(平成27年度対象)

平成28年9月

美浜町教育委員会

目 次

I	自己点検・評価の考え方	2
II	具体的な点検・評価の方法	2
III	第5次美浜町総合計画（教育委員会関連部分）	3
IV	平成26年度美浜町教育委員会重点努力目標	6
V	みはまの教育・合い言葉	8
VI	施策の成果	
第1	新教育委員会制度への移行	9
第2	教育委員会運営	
1	教育委員会開催の状況	10
2	教育委員会委員の活動状況	10
3	教育委員会委員の研修会参加及び研修会開催状況	14
4	「みはまの教育・合い言葉」の普及活動	15
5	日本福祉大学との連携	15
6	学校訪問実施状況	15
7	学校巡視実施状況	15
第3	学校教育事業	
1	児童生徒の指導	16
2	学校運営	17
第4	社会教育事業	
1	社会教育委員会	18
2	生涯学習センターの運営	18
3	青少年教育	19
4	家庭教育	20
5	成人教育	21
6	視聴覚教育	22
7	文化振興事業	22
第5	公民館事業	
1	公民館管理	23
2	利用状況	23
3	公民館活動	23
第6	文化財保護事業	
1	文化財保護委員会	24
2	文化財保護事業等	24
第7	社会体育事業	
1	スポーツ推進組織と活動状況	25
2	スポーツ大会の開催	26
3	トレーニング室運営事業	27
4	学校開放施設（スポーツ施設）の利用状況	27
5	社会体育施設等の利用状況	27
第8	図書館運営事業	
1	美浜町図書館協議会	27
2	図書館の現況	28
3	図書館活動	28
第9	学校給食センター管理運営事業	
1	学校給食センター運営委員会	30
2	学校給食の状況	30
3	食に関する指導	30
VII	総合評価	32
VIII	点検評価委員による評価	33

I 自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から、教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を実施することとなりました。

美浜町教育委員会としては、これまでも教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところであります。

政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なことであります。そのような観点から、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を実施することとしました。

II 具体的な点検・評価の方法

点検・評価の対象には、教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）、教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）及び教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）等がありますが、平成27年度の点検・評価の方法を、第5次美浜町総合計画の教育委員会関連部分の主要の施策及び平成27年度美浜町教育委員会重点努力目標を基本的な目的として、施策の成果等を以って代えるものとししました。

〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務

（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成20年4月1日施行）

Ⅲ 第5次美浜町総合計画（教育委員会関連部分）

◇学校教育の主要な施策

1 特色ある学校教育の充実

基礎学力の習得はもとより、柔軟で多様なカリキュラムによって、児童生徒の「生きる力」「郷土を愛する心」を育みます。また、少人数指導や習熟度別指導が可能となるように、特別支援学級アシスタント、学校生活支援員の配置に取り組みます。

2 学校施設の計画的な整備と情報化への対応

小・中学校の施設・設備を整備し、教育環境の改善・充実を図ります。また、情報教育アドバイザーと連携して、情報通信技術（ICT）環境の整備に取り組み、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。

3 特別支援教育の充実

ノーマライゼーションの理念に基づき、学校・保護者・関係機関と連携して、障害の程度に応じた適切な就学支援に取り組みます。

4 いじめ・不登校への対応

いじめ・不登校の問題については、家庭や地域との連携をさらに強化します。

5 防災教育の充実

学校施設の定期的な安全点検及び関係機関と連携して防災教育を推進し、児童生徒の防災意識の向上を図ります。

6 家庭・地域に開かれた学校づくり

子どもたちの豊かな心の教育を目指し、魅力ある教育活動を通じて、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めます。

◇生涯学習の主要な施策

1 生涯学習関連施設の改修と活用

老朽化に合わせて、計画的に各公民館や生涯学習センターの施設・設備の整備・充実を図ります。あわせて、心育館を生涯学習の拠点施設と位置づけながらも、地区公民館などで住民参加型の生涯学習事業が可能な体制づくりに取り組みます。

2 生涯学習施策の確立

多様化した住民の学習ニーズに応えるために、生涯学習講師・ボランティアなどの人材登録を進め、住民が自ら講座を企画・運営できるような体制整備・学習情報の提供・相談体制の整備を図ります。

3 図書館と学校教育などとの連携及び図書館サービスの質的向上

学校や保護者と連携し、子どもたちに本の面白さや興味を持たせる本の説明会を実施して読書の推進を図ります。図書館利用者の求めに応じて、資料提供ができるようレファレンスサービスを充実するとともに、図書館サービスの質的向上を図ります。

4 環境教育プログラムの充実

自然観察会、自然観察ハイキング大会などを通じて、環境教育プログラムの体系化を図り、対象やテーマに応じた学習メニューの整備と提供に取り組みます。

◇子ども・若者への支援の主要な施策

1 青少年を守る会（育てる会）活動の推進

家庭・学校・地域が一体となり取り組む青少年を守る会(育てる会)の活動が永続的に続くよう、会の活動の推進及び支援を行います。

2 家庭教育推進連絡会議

各小学校区の「青少年を守る会(育てる会)」の活動と連携しながら、みはまの教育・合い言葉の普及を図ります。

3 子育て支援

新たな子育て支援ボランティア（子育てネットワーク）を育成しつつ、子育て不安など育児に悩む親の相談や学習の機会提供できるよう、住民との協働による子育て支援体制の整備を図ります。

4 青少年の健全育成

青少年健全育成に係る県民運動などに合わせた啓発活動やパトロール活動などを行い、関係機関と連携して青少年の非行・被害防止に取り組めます。

5 横断的な子ども・若者支援の推進

行政内部の関係部署、外部の関係機関と連携して、ニートや引きこもり、発達障害などの精神疾患などの問題に対応できる体制整備の強化に取り組めます。

◇スポーツ・レクリエーションの充実の主要な施策

1 スポーツ施設の整備・充実

総合公園体育施設を核に、充実した運動施設と施設周辺環境整備を図ります。また、各施設の老朽化に伴い、計画的に施設修繕・整備に取り組めます。

2 ニュースポーツの普及とスポーツ人口の増加

誰でも楽しむことができるニュースポーツの紹介など、多様なスポーツ・レクリエーション種目を普及・充実させ、身近に運動が楽しめる環境づくりを進めながら、スポーツ人口の増加を図ります。

3 体育協会、みはまスポーツクラブなどの充実

体育協会、みはまスポーツクラブなどへの支援を通じて、住民が気軽に参加し、スポーツを楽しめる環境を充実させます。

◇地域文化の振興と文化財の保護の主要な施策

1 文化・芸術団体の育成

文化・芸術・芸能団体への新規会員の加入促進を促すとともに、活動・発表の場の充実、文化協会などへの新規団体の加入促進を通じて、文化活動の振興に取り組めます。

2 美浜音頭とみはま小唄の普及・促進

美浜音頭・小唄保存会の活動を中心に、年齢に関係なく、住民であれば誰でも美浜音頭・みはま小唄が踊れるように普及・促進を図り、地域文化の恒久的な保存・伝承に取り組めます。

3 地域の伝統文化や歴史の発掘・調査・研究の推進

地域に現存する伝統文化や歴史遺産などを発掘・調査・研究し、文化財の保存と活用に取り組めます。

4 文化財保存資料の整備・充実

考古学資料や古文書、民俗資料などが保存・展示できる施設の整備・充実に努めます。

◇多彩な交流の推進の主要な施策

1 国際交流の推進

ホストファミリーや語学ボランティアの登録者を開拓し、国際交流活動の体制整備に取り組みます。また、外国人観光客や外国人居住者に配慮して、看板などのサイン整備に取り組みます。

2 シンガポール小・中学校などとの交流

お互いの国の歴史や文化への理解を深め、国際交流活動の充実を図ります。また、郷土の偉人「音吉」らの功績を学ぶことによって、美浜を愛する心を育みます。

3 日本福祉大学と住民との連携

英語や教職課程を学ぶ大学生と住民が連携して、国際交流に必要な語学学習などに取り組みます。

4 分野別の業務締結の検討

まちづくり活動・防災・観光・文化などの交流に寄与し、同時に業種間交流も可能な自治体との連携を検討します。

IV 平成27年度美浜町教育委員会 重点努力目標

- 1 「みはまの教育・合い言葉」の普及に努めるとともに、方針実現に向けた具体的な取り組みを行い、評価する。
- 2 定例の学校訪問・学校視察はもとより、随時の学校訪問を積極的に行い、町内各小中学校の現状把握に努めるとともに、学校運営や学校管理について指導・支援を積極的に行う。
- 3 青少年教育、家庭教育、成人教育などを始めとする、地域におけるふれあい活動や生涯学習を積極的に推進するよう努める。
- 4 生涯スポーツ活動の拠点、スポーツに親しむことができる環境づくりを積極的に推進する。
- 5 児童生徒の健全な育成を目指した、食に関する指導の推進に努める。
- 6 利用者のニーズに対応した情報提供に努めるとともに、図書館サービスの一層の充実を図る。
- 7 日本福祉大学と町教委、各小中学校が連携し、子どもたちの教育活動及び住民の生涯学習活動をより充実するよう努める。

〈1について〉

- 定例の教育委員会において「みはまの教育・合い言葉」の唱和をする。
- 各学校へは、学校経営方針と美浜町教育方針（合い言葉）の関連付けを図るよう依頼する。
- スマートフォンの無料通話アプリにより中高生が巻き込まれる事件が多発しており、今や大きな社会問題にもなりつつある。利用に関して家庭における親子間でのルール作りが行われていないことが、子どもたちを事件に巻き込んでいる一つの要因であり、委員会として、様々な機会を通して「教えよう！約束・きまり・がまんの心」の持つ意味を保護者に伝え、問題行動の防止に取り組んでいく。
また、児童生徒及び保護者を対象にアンケートを実施し、本町における実態の把握に努める。

〈2について〉

- 委員及び事務局職員は、時機をとらえ積極的に学校を訪問し、支援にあたる。
- 小学校においては学習指導要領の全面实施5年目、中学校においては学習指導要領の全面实施4年目の学習指導において、適切に行われるよう指導・支援する。
- 問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、各学校や家庭、スクールカウンセラーなど、専門機関と連携し、いじめ問題や不登校児童生徒が減少するよう努める。
- 各学校や家庭と連携して、児童生徒（特に小学生）の家庭における学習習慣の確立を図れるよう、学校として具体策を検討して取り組む。
- 外国語活動（英語科）において、外国語活動指導員と連携して、児童生徒の国際理解教育を推進するとともに、教員の英語運用能力の向上を図る。

- 情報教育において、情報教育アドバイザーと連携して ICT 環境の整備に努め、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。
- 防災教育において、町防災安全課と連携して、防災教育の推進に努め、校内の防災対策の見直しを進めるとともに、「児童生徒や保護者の防災への意識の把握」や「自分の命は自分で守ることへの意識づけ」を行うなどして、児童生徒の防災意識の向上を図る。併せて保護者の防災意識（「自分の子どもの命は保護者が守る」）を高める。

〈3について〉

- 青少年教育においては、子ども・若者の健全な成長を育むため、県を始めとする関係機関、関係部署と協力して、子ども・若者育成の環境づくりに努める。
- 家庭教育においては、家庭教育講座の開催等を行うとともに、引き続き子育て支援者のサポート、子育てサークルの育成・支援や、地域、家庭、学校が相互に連携・協力して取り組む活動の推進に努める。
- 成人教育としては、高齢者が生きがいとして積極的に学び集う「みはま寿大学」の開催をサポートする。
- 生涯学習活動の拠点である公民館の施設改修、修繕を行い、活動環境の維持・向上に努める。

〈4について〉

- 年齢、性別を問わず誰もが生涯を通して、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに努める。
- 文化活動も取り入れた多種目多世代のコミュニケーションの場づくりを積極的に推進する。
- 仲間づくり、健康づくりをスポーツを通して楽しめるような環境づくりに努める。

〈5について〉

- 生活習慣を見直し、元気な学校生活を送るための、食育の推進指導を行う。具体的には、栄養教諭、栄養職員が全学校、全クラスを訪問し、特別活動で行う全体指導やアレルギーを持つ児童生徒への個別指導など、食に関する様々な指導を教育の一環として実施する。

〈6について〉

- 利用者が必要とする情報を提供できるように資料及び情報収集の研鑽を積むとともに、日本福祉大学、小中学校図書館との連携を深め、「美浜町こども読書活動推進計画」の推進に努める。
- 図書館活動の充実、利用しやすい図書館の実現のため、「笑顔と挨拶は心の架け橋」のスローガンを継承し、今まで以上に町民に愛される図書館を目指す。

〈7について〉

- 町教委、小中学校と大学が連携し、子ども発達学部の学生による学校インターンシップ（学校体験）が円滑かつ充実するよう努める。
- 町教委、小中学校と大学が連携し、シンガポール（イーミン小・ニーアン中）との国際交流事業が円滑かつ充実するよう努める。
- 大学のスポーツ教育センターとの連携により設立した総合型地域スポーツクラブ（みはまスポーツクラブ）により、ニュースポーツの普及・振興に努める。

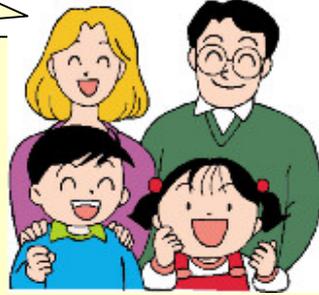
V みはまの教育・合い言葉

美浜町教育委員会は、教育方針として「みはまの教育・合い言葉」を定めました。
大人も子どもも、学校も家庭も、地域全体でこの「合い言葉」を実践しましょう！

みはまの教育・合い言葉

みんなで

はじめよう！



まず、当たり前のことから！

◆ 広げよう！ 明るいあいさつ 素直な心

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子に

◆ 教えよう！ 約束・きまり がまんの心

礼儀正しく、お手伝い・勉強・運動なんでもがんばる子に

◆ はぐくもう！ 命あるもの 尊ぶ心

命あるものをいつくしみ、他人も自分も大切に子に



◆ 伝えよう！ 「もったいない」の言葉と心

物を粗末に扱わず、物にも感謝できる子に

◆ 実行しよう！ 早寝・早起き・朝ごはん

健康で、前向きにたくましく生きぬく子に



VI 施策の成果

第1 新教育委員会制度への移行

教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成27年4月1日より施行されることとなり、本町も移行に向けて次のとおり体制整備に努めた。

(1) 新「教育長」の任命

教育委員会を引き続き執行機関としつつ、その代表者である委員長と事務の統括者である教育長を一本化した新「教育長」を置くことにより、迅速な危機管理体制の構築を含め、教育行政の第一儀的な責任者を明確化した。

〈移行の経過〉

平成27年2月17日	第12回定例教育委員会にて山田道夫教育委員（教育長）の辞職承認
平成27年3月31日	教育委員長職の廃止
平成27年3月10日	3月定例会にて教育長選任同意議案可決
平成27年4月1日	新教育長に山本 敬 氏 就任 任期：3年間（平成27年4月1日～平成30年3月31日）
平成27年4月1日	第1回教育委員会を教育長が招集し、「教育長職務代理者」を選任 任期は1年、委員就任の順位とすることを委員会にて申合せた。

(2) 教育委員会について

新「教育長」が教育行政に大きな権限と責任を有することとなることを踏まえ、教育長は、2人以上の委員（委員定数の1/3以上）から、附議事件を示して会議の招集を請求された場合は、遅滞なく召集しなければならないこととなった。

また、教育委員会から委任された事項又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならないなど、委員による教育長へのチェック機能が強化された。

さらに、住民に対して開かれた教育行政を推進する観点から、会議録の公表が努力義務とされたので、今後HP上に公表していく。

(3) 大綱の策定について

地方公共団体の長は民意を代表する立場であるとともに、教育行政においては、教育委員会の所管事項に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有している。

また、近年の教育行政においては福祉や地域振興などの一般行政との密接な連携が必要となっている。

これらを踏まえ、地方公共団体の長に大綱の策定を義務付けることにより、地域住民の意向のより一層の反映と地方公共団体における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図ることとされているため、上位計画である第5次美浜町総合計画との整合性を図りながら策定していく。

(4) 総合教育会議について

総合教育会議を設置することにより、教育に関する予算の編成・執行や条例提案など重要な権限を有している地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、首長主宰の年2回の定例会議を開催するほか、必要に応じて臨時会も開催していく。

また、協議、調整の過程において会議が必要と認める場合は、関係者又は学識経験を有する者の出席を求め、意見を聴取していく。

〈開催状況〉

第1回総合教育会議

日 時 平成27年 6月17日（水）午後3時

協議事項

(1) 総合教育会議の運営について

「美浜町総合教育会議設置要綱」制定

(2) 教育に関する大綱について

策定に向けて資料説明し、10月1日、新委員選任後検討し、来年度前半に策定

する予定とした。

第2回総合教育会議

日 時 平成27年11月13日（金）午後2時

協議事項

(1) 教育大綱について

他市町の策定状況の報告

(2) 今後の教育施策について

本町における喫緊の課題として、児童生徒数減少に伴う小中学校の今後あるべき姿について積極的に意見交換がなされ、今後それに向けた対応策を協議していくこととした。

(5) 教育委員定数の見直し

教育委員定数については、法律の規定に基づき、これまで町内6小学校区より5人の教育委員を選任していたが、1年間は常に教育委員不在となる学区が生じていたため、新制度移行に合わせて、全小学校区から教育委員を選任することとした。

平成27年3月定例会において、美浜町教育委員会は、教育長及び6人の委員をもって組織することを内容とする美浜町教育委員会委員定数条例を制定し、平成27年10月1日から施行することとし、9月定例会において、山田教育長辞任に伴い欠員となる布土学区、及び新たに野間学区より次の委員を選任した。

布土学区 石垣由貴子 氏 任期：4年（平成27年10月1日～平成31年9月30日）

野間学区 樋口和子 氏 任期：4年（平成27年10月1日～平成31年9月30日）

第2 教育委員会運営

1 教育委員会開催状況（議案について記載、報告事項等は省略）

- | | |
|-------------------|--|
| 第1回（平成27年 4月 1日） | ・美浜町教育委員会教育長職務代理の指定について
・美浜町スポーツ推進委員会委員の委嘱について |
| 第2回（平成27年 4月 7日） | ・小中学校の主任等の発令について |
| 第3回（平成27年 5月 8日） | ・美浜町図書館協議会委員の委嘱について
・美浜町文化財保護委員会委員の委嘱について |
| 第4回（平成27年 6月17日） | ・美浜町教育委員会傍聴人規則の一部改正について
・美浜町教育委員会公印規程の全部改正について
・美浜町図書館協議会委員の委嘱について
・美浜町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について |
| 第5回（平成27年 7月24日） | ・平成28年度使用小・中学校教科用図書の採択について
・平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（案）について |
| 第6回（平成27年 8月 5日） | 報告事項のみ |
| 第7回（平成27年 9月17日） | 報告事項のみ |
| 第8回（平成27年10月 1日） | 報告事項のみ |
| 第9回（平成27年10月21日） | 報告事項のみ |
| 第10回（平成27年11月13日） | 報告事項のみ |
| 第11回（平成27年12月11日） | ・美浜町立学校管理規則の一部改正について
・美浜町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について |
| 第12回（平成28年 1月14日） | ・美浜町出納員等に関する規則の一部改正について |
| 第13回（平成28年 2月16日） | ・平成27年度美浜町教育功労者の選考について
・美浜町図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について |
| 第14回（平成28年 3月 4日） | ・平成28年度教職員定期人事異動について |
| 第15回（平成28年 3月31日） | ・教育長職務代理者の選任について
・平成28年度美浜町教育委員会教育部人事について
・美浜町社会教育委員の委嘱について |

2 教育委員会委員の活動状況（上記教育委員会を除く）

学校訪問を始めとする学校行事への参加、教育委員会の附属機関である社会教育委員会、文化

財保護委員会、給食センター運営委員会、図書館協議会並びに関連する各種団体の会合に出席して、現状における課題を認識するとともに、関係者から意見を聴取した。

(月 日)	(内 容)	(場 所)	(出席者)
平成27年 4月 1日	学校管理職辞令伝達式	保健センター	教育長・全委員
	小中学校教諭発令通知書伝達式	美浜町役場	教育長・全委員
4月 3日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	教育長・職務代理
4月 6日	町内小学校入学式	6小学校	教育長・全委員
4月 7日	町内中学校入学式	2中学校	教育長・全委員
4月 7日	奥田公民館運営委員委嘱式	奥田公民館	教育長
4月 8日	知多大和幼稚園入園式	大和幼稚園	教育長
	スポーツ推進委員会委員委嘱	総合公園体育館	教育長
4月 9日	スポーツ少年団本部役員会	総合公園体育館	教育長
4月16日	P T A総会	野間中学校	西部委員
4月17日	P T A総会	6小学校	関係委員
4月20日	P T A総会	河和中学校	東部委員
4月21日	野間公民館運営委員委嘱式	野間公民館	教育長
4月23日	県町村教育長協議会研修会	県三の丸庁舎	教育長
	町P T A連絡協議会総会	やまに旅館	教育長・全委員
4月24日	社会教育委員会	生涯学習センター	教育長・全委員
	町現職教育協議会	美浜町役場	教育長
4月28日	布土公民館運営委員委嘱式	布土公民館	教育長
4月30日	教育長・校長・教頭歓送迎会	上野間「八百賢」	教育長・全委員
	町教育支援委員会	美浜町役場	職務代理
5月 7日	知多地方教育事務協議会幹事会	知多総合庁舎	教育長
	河和中学区会/歓送迎会	観光センター	教育長・東部委員
5月 9日	町文化協会評議員会/懇親会	生涯学習センター	教育長・全委員
		かんぽの宿	教育長・全委員
		少年自然の家	教育長・全委員
5月12日	中学校自然教室訪問	保健センター	教育長
	町優良児童顕彰式	総合公園体育館	教育長・職務代理
	町体育協会役員会	総合公園体育館	職務代理
5月13日	みはま寿大学開校式	総合公園体育館	職務代理
	みはまスポーツクラブ運営委員会	総合公園体育館	職務代理
5月14日	愛知県町村教育長協議会総会	県三の丸庁舎	教育長
5月15日	野間中学区会/歓送迎会	柏屋旅館	教育長・西部委員
5月16日	みはまスポーツクラブ総会	日福大グランド	教育長・職務代理
5月18日	地元農産物「アグリス米」贈呈式	河和小学校	教育長
5月20日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	教育長・職務代理
	知多教科用図書採択地区協議会①	知多総合庁舎	教育長
5月21日	小学校陸上競技大会	布土小学校	全委員
5月21日	全国町村教育長協議会総会	東京	教育長
～22日			
5月22日	美浜音頭・小唄保存会総会	生涯学習センター	職務代理
5月27日	美浜女性の会総会	生涯学習センター	教育長
5月28日	学校訪問	河和小学校	教育長・全委員
5月29日	文化財保護委員会	生涯学習センター	教育長・全委員
	イーミン小受入れ式/ホスト	生涯学習センター	教育長・全委員
	ファミリー対面式		
5月30日	町制60周年記念中西哲生ジュニア	日福大グランド	教育長
	サッカー教室		
5月31日	イーミン小教諭歓迎会	ゆたか寿司	教育長
6月 1日	イーミン小児童学校交流	西部地区小学校	西部委員
6月 2日	シンガポール国際交流	生涯学習センター	教育長・全委員
	ホストファミリーお別れ会		
6月 7日	町制60周年記念	日福大グランド	教育長
	NHKジュニア野球教室		
6月 8日	学校訪問	河和中学校	教育長・全委員
6月10日	シンガポール派遣候補者選考会	美浜町役場	教育長・職務代理
6月10日	内海高校見学会	県立内海高校	教育長

(月 日)	(内 容)	(場 所)	(出席者)
6月12日	学校訪問	野間中学校	教育長・全委員
6月14日	ふるさと研究会総会	生涯学習センター	教育長
6月15日	知多5町教育長会議	知多総合庁舎	教育長
6月17日	教科書展示見学 総合教育会議	半田市中央公民館 美浜町役場	教育長・全委員 教育長・全委員
6月18日	社会を明るくする運動実行委員会 家庭教育推進連絡会議	生涯学習センター 生涯学習センター	教育長・職務代理 教育長・全委員
6月24日	給食センター運営委員会	学校給食センター	教育長・全委員
6月29日	学校訪問	上野間小学校	教育長・全委員
7月 4日	社明大会・家庭教育講演会	総合公園体育館	教育長・全委員
7月 6日	ふれ愛チャリティーゴルフ大会 知多地方教育事務協議会幹事会 知多教科用図書採択地区協議会②	新南愛知C.C 知多総合庁舎 知多総合庁舎	川上委員 教育長 教育長
7月 7日	知多地方教育委員研修会	東海市研修センター	教育長 職務代理・石田委員
7月 8日	野中校区生徒指導推進連絡会議	野間中学校	教育長
7月 9日	町図書館協議会	生涯学習センター	教育長・全委員
7月10日	教科用図書学習会 県市町村教育委員会連合会総会	美浜町役場 蒲郡市民会館	教育長・全委員 教育長・全委員
7月14日	知多教科用図書採択地区協議会③	知多総合庁舎	教育長
7月21日	知多地区特別支援教育連携協議会	知多総合庁舎	教育長
8月 1日	名誉町民顕彰式/祝賀会 町制60周年記念民踊まつり	総合公園体育館 総合公園体育館	教育長・職務代理 教育長・全委員
8月 5日 ～6日	小学校体育大会	総合公園体育館ほか	教育長・全委員
8月 6日	知多地方教育事務協議会幹事会	知多総合庁舎	教育長
8月 7日	新任教職員郷土めぐり研修	総合公園体育館	教育長
8月17日	尾張教育推進協議会懇談会	名古屋観光ホテル	教育長
8月18日	みはまタウンマラソン役員会 市町村対抗駅伝大会選手選考会	総合公園体育館 総合公園体育館	教育長 教育長
8月19日	シンガポール派遣結団式	保健センター	教育長・全委員
8月21日	シンガポール派遣出発式	美浜町役場	教育長・全委員
8月22日	町制60周年記念 60イニングマラソン野球	総合公園グラウンド	職務代理
8月26日	シンガポール派遣到着式	美浜町役場	教育長・全委員
8月27日	学校四役研修会	北方「福助」	教育長・全委員
8月30日	市町村対抗駅伝大会選手選考会	総合公園体育館	教育長
9月 9日	社会教育委員会	生涯学習センター	教育長
9月11日	シンガポール派遣解団式・報告会	美浜町役場	教育長・全委員
9月14日	学校訪問	河和南部小学校	教育長・全委員
9月15日	知多地区5町教育長会議 みはまスポーツクラブ運営委員会	東浦町給食センター 総合公園体育館	教育長 教育長
9月16日	知多地方教育懇談会	半田市中央公民館	教育長・職務代理
9月17日	学校訪問	野間小学校	教育長・全委員
9月20日	町制60周年記念名古屋グランパス ふれあいサッカー教室	総合公園グラウンド	教育長
9月23日	町制60周年記念 ふれあいペタンク大会	総合公園グラウンド	教育長
9月24日	町表彰審査委員会	美浜町役場	教育長
10月 1日	教育委員辞令交付式	美浜町役場	教育長・全委員
10月 2日	文化財保護委員会（臨時） 河和中学区会	生涯学習センター 河和 栄寿司	教育長 教育長・東部委員
10月 3日	小学校運動会 小学校区運動会	河和小学校 河和南部小学校	関係委員 関係委員
10月 4日	小学校区運動会	上野間小学校	関係委員
10月 6日	学校巡視	東部小中学校	教育長・全委員
10月 8日	教育委員歓送迎会 60周年記念事業「こころの劇場」	野間 やまに旅館 武豊町ゆめたろうプラザ	教育長・全委員 教育長・全委員

(月 日)	(内 容)	(場 所)	(出席者)
10月11日	60周年記念事業「美浜山車まつり」	総合公園	教育長
	知多大和幼稚園運動会	大和幼稚園	教育長
10月13日	学校訪問	布土小学校	教育長・全委員
10月14日	美浜を味わう給食の日	両中学校	教育長・全委員
10月15日	知多地方教育事務協議会研修会	東海市芸術劇場	教育長・職務代理
	懇親会	大同特殊鋼(株)	教育長・全委員
10月16日	学校巡視	西部小中学校	教育長・全委員
10月17日	すずかけ祭(文化の部)	河和中学校	教育長・東部委員
18日	すずかけ祭(体育の部)	河和中学校	教育長・東部委員
10月21日	町校長会予算要望説明会	美浜町役場	教育長・全委員
	町教育懇談会	美浜町役場	教育長・全委員
10月23日	野中祭(文化の部)	野間中学校	関係委員
10月24日	野中祭(体育の部)	野間中学校	教育長・西部委員
	町文化祭	総合公園体育館	教育長・全委員
	美浜女性の会オータムフォーラム	総合公園体育館	教育長
10月25日	町芸能祭	総合公園体育館	教育長
10月28日	学校訪問	奥田小学校	教育長・全委員
10月31日	小学校学習発表会	河和小・野間小	教育長・関係委員
11月3日	町制施行60周年記念式典	総合公園体育館	教育長・全委員
11月4日	知多地方教育事務協議会幹事会	知多総合庁舎	教育長
	中学校初任者研修(半田・南知多・美浜)	河和中学校	教育長
11月6日	校長人事面接	美浜町役場	教育長・職務代理
11月7日	小学校学習発表会・学芸会	布土小・河南小 奥田小	教育長・関係委員
11月11日	県町村教育長協議会研修会	県三の丸庁舎	教育長
11月12日	小学校学習発表会	上野間小学校	関係委員
11月13日	町教育総合会議	保健センター	教育長・全委員
	ニーアン中学校受入れ式	生涯学習センター	教育長・全委員
11月16日	ニーアン中学校学校交流	野間中学校	教育長・関係委員
11月20日	町教頭研修会	保健センター	教育長
	教職員体育大会	河和中学校	教育長・全委員
11月28日	市町村対抗駅伝競走大会結団式	総合公園体育館	教育長・職務代理
12月5日	市町村対抗駅伝競走大会	愛・地球博記念公園	教育長・全委員
12月11日	成人式実行委員会	総合公園体育館	教育長・全委員
12月13日	まちの音楽会	総合公園体育館	教育長
12月15日	地教委面談(第1次)	常滑市青海公民館	教育長・職務代理
12月16日	知多地区5町教育長会議	南知多町役場	教育長
12月17日	生徒指導推進連絡会議	野間中学校	教育長
12月23日	町制60周年記念中日ドラゴンズ 野球教室	総合公園グラウンド	教育長
平成28年 1月5日	知多地方教育事務協議会幹事会	知多総合庁舎	教育長
1月7日	観光協会事務所開き	奥田駅	教育長
1月7日	美浜タウンマラソン協力員説明会	総合公園体育館	教育長
1月10日	町成人式	総合公園体育館	教育長・全委員
1月13日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	教育長・職務代理
1月14日	地教委面談(第2次)	阿久比中央公民館	教育長・職務代理
	管内教務主任者研修会	総合公園体育館	教育長
1月17日	美浜タウンマラソン	総合公園周辺	教育長・全委員
1月19日	文化財防火訓練	野間大坊	教育長・樋口委員
1月25日 ～29日	学校給食訪問	全小学校	教育長・全委員
2月1日	校長面談	保健センター	教育長
2月3日	町制60周年記念 女性議会	議場	教育長
2月4日	校長面談	美浜町役場	教育長
2月5日	町教育研究発表会	総合公園体育館	委員全員
2月16日	体育功労者表彰審査会	総合公園体育館	教育長・職務代理
2月18日	町教育支援委員会	役場	教育長
2月19日	町いじめ・不登校対策協議会	生涯学習センター	職務代理

(月 日)	(内 容)	(場 所)	(出席者)
2月19日	教育委員と事務局との懇談会	南知多町「杉	教育長・全委員
	県町村教育長協議会研修会	三の丸庁舎	教育長
2月20日	日福大附属高校卒業証書授与式	日福大附属高等学校	教育長
2月22日	知多地方教育事務協議会幹事会	知多総合庁舎	教育長
2月24日	家庭教育推進連絡会議	生涯学習センター	教育長
	町社会教育委員会	生涯学習センター	教育長
	美浜タウンマラソン役員会	総合公園体育館	教育長・職務代理
2月25日	町特別支援学級卒業を祝う会	上野間小学校	教育長
2月28日	あいちベテランオープンパ ンク大会	総合公園グラウンド	教育長
	公民館まつり	野間公民館	教育長・樋口委員
3月 1日	県立内海高等学校卒業式	内海高等学校	職務代理
3月 4日	中学校卒業式	各中学校	教育長・全委員
3月 5日	春の文協まつり	総合公園体育館	教育長
～6日			
3月 6日	美浜ライオンズサッカー大会	総合公園グラウンド	教育長
3月 8日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	職務代理・加藤委員
3月10日	町現職教育協議会	役場	教育長
3月13日	町制60周年記念卓球座談:講演会	総合公園体育館	教育長
3月17日	町体育協会体育功労者表彰	総合公園体育館	教育長・職務代理
3月18日	小学校卒業式	各小学校	教育長・全委員
3月19日	日本福祉大学学位記授与式	日本福祉大学	教育長
3月22日	知多大和幼稚園卒園式	大和幼稚園	教育長
	知多5町教育長会	美浜町役場	教育長
3月25日	保育所卒園式	各保育所	教育長
3月27日	ソフトバレーボール大会	総合公園体育館	教育長
3月29日	日福大・附属高校包括協定協議会	日本福祉大学	教育長
3月31日	教職員退職辞令交付式	美浜町役場	全委員

3 教育委員会委員の研修会参加及び研修会開催状況

(1) 愛知県市町村教育委員会連合会第49回定期総会及び研修会

期 日	平成27年7月10日（金）
場 所	蒲郡市民会館中ホール
内 容	第49回定期総会 ・平成27年度全国市町村教育委員会連合会表彰伝達 被表彰者11名（本町 伊藤ふき子氏受賞） ・平成26年度連合会事業報告及び決算について ・平成27年度連合会事業計画案、予算案及び役員案の承認について
研修会	
講師	文部科学省初等中等教育局財務課教育財政室 室長補佐 谷川 敦氏
演題	「初等中等教育における諸課題」

(2) 学校四役研修会

期 日	平成27年8月27日（木）
場 所	北方「福助」
研修内容	講師 美浜町教育委員会教育長 山本 敬 氏 演題 「過去の不祥事から」 これまでの長い学校管理職や行政経験の中で、遭遇した事例の中から感じたことについてお話をいただいた。 軽微な事故であっても交通事故の報告を怠った場合には、重い責任を問われることになる。また、教え子に対するわいせつ事案を起こした場合には、教員を続けられないことになる。このような不祥事が発生しないように、学校の管理職として、あらゆる機会を通じて職員に話をしてほしい。

- (3) 知多地方教育事務協議会教育委員研修会・懇親会
 期 日 平成27年10月15日（木）
 場 所 東海市芸術劇場 多目的ホール
 研修内容 講 師 国立教育政策研究所
 教育課程調査官 澤田浩一 氏
 演 題 道徳教育に関わる今日的課題」
- (4) 全国町村教育長会教育長セミナー
 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が改正され、平成27年度4月1日より施行されたことに伴い、新制度に移行した教育委員会の教育長が全国より参集し、講演会、グループワークにより意見交換を行った。
 期 日 平成28年1月23日（土）～24日（日）
 研修場所 茨城県つくば市
 独立行政法人 教員研修センター

4 「みはまの教育・合い言葉」の普及活動

- 重点努力目標に掲げているとおり、各校PTA総会に委員が出席して合い言葉の普及に努めるとともに、教育委員会諸行事のあいさつ、生涯学習課での諸会議のなかでも普及取り組みについて説明を行った。また、学校の経営方針に合い言葉の趣旨に沿った目標を掲げ実践した。

5 日本福祉大学との連携

- (1) 小中学校における連携
- 町内の全小中学校が日本福祉大学子ども発達学部の学生61名を学校体験事業として年間を通して受け入れた。（28年度採用予定11名の現場体験を含む。）
 - 学生にとっては学校現場を体験できたこと、小中学校にとってはアシスタントとして活用できたことなど双方にとって有効な事業であった。
 - 日本福祉大学スポーツ教育センターと連携し、特別支援学級交流会でスポーツ・レクリエーション活動を実施した。
 - 子ども発達学部心理臨床学科 障害児心理専修伊藤修毅准教授により、特別支援教育に係る巡回相談を、1・2学期に1校につき各1回、年2回ずつ実施した。
- (2) みはまスポーツクラブ(平成24年9月23日設立)における連携
- 本町と日本福祉大学スポーツ教育センターが連携して運営する「みはまスポーツクラブ」が、次に掲げるサークル及び教室を計画的に開催し、その普及推進に努めた結果、参加者数が前年と比較して約2倍の2,941人に達した。
 ≪サークル≫ ボッチャde健康、スナッグゴルフ
 ≪教 室≫ リラクゼーションヨガ、ちびっこ陸上、陸上、キッズウェルネス、ノルディックウォーキング、マラソン、ジュニア陸上、コンディショニング
 整体、リズムにのってエキササイズ、小学生レクリエーション、ワイワイスポーツ、カローリング
- (3) 図書館における連携
- 平成22年3月24日に協定を締結し、図書の相互貸借を行うこととしているが、平成27年度では2件4冊の借受けがあり、今後も積極的な活用を推進していく。
 - 美浜町図書館の図書館活動での子ども読書週間行事の一環として、日本福祉大学児童文化部あかとんぼにより、毎年行われている人形劇を27年度においても実施した。

6 学校訪問実施状況

各小中学校の教育目標、経営方針、重点努力目標及び学習指導への取り組みについて学校より報告を受け、公開授業、特設授業を参観して意見を述べた。

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|----------|-------|
| ・布土小学校 | 10月13日 | ・河和小学校 | 5月28日 | ・河和南部小学校 | 9月14日 |
| ・野間小学校 | 9月17日 | ・奥田小学校 | 10月28日 | ・上野間小学校 | 6月29日 |
| ・河和中学校 | 6月8日 | ・野間中学校 | 6月12日 | | |

7 学校巡視実施状況

校舎、遊具及び備品の点検確認のため、10月6日に東部地区の小中学校、10月16日に西部地区の小中学校の巡視を実施して、学校からの要望を聴取し、意見交換及び指導を行った。

第3 学校教育事業

1 児童生徒の指導

(1) 外国人英語講師派遣事業

人材派遣会社の外国人英語講師を中学校に派遣し、英語担当教師とともに生徒の語学力向上に努めた。

授業日数 河和中学校 40日 野間中学校 30日

(2) 外国語活動指導員

平成23年度より小学校5・6年生で外国語活動が必修化されたことに伴い、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図るため指導員を派遣した。

授業時間 年間35単位時間

(3) 学校生活適応指導

不登校の児童生徒に対する指導を行うため、学校以外の場所に教室を設置し、在籍校と連携を取りながら、個別のカウンセリング、集団での活動、教科指導等を行い、児童生徒の自主性・主体性の育成や人間関係の改善を図り、在籍校への復帰を目指した。

また、いじめ・不登校対策協議会を設置し、ケースの検討会議、メンタルフレンドの活用、民生委員との連携及び校内指導体制の整備を図った。

場 所 ホープみはま（旧中部電力美浜営業所2階）
 開設日時 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後3時
 相談員 教育相談員1名 指導員1名
 対象者 2名（中学2年女子、3年女子各1名）

(4) スクールアシスタント配置

小学校特別支援学級及び通常学級で支援を必要とする児童が学校生活を円滑に送れるようアシスタントを配置した。

・ 特別支援学級スクールアシスタント配置事業

重度の障害を持つ児童が学ぶ小学校の特別支援学級の円滑な運営を図るため、アシスタント9名を配置した。なお、本年度奥田小学校が1学級増となったため、アシスタント1名を増員した。

配置校 布土小2名、河和小2名、野間小2名、奥田小2名、上野間小1名

・ 通常学級スクールアシスタント配置事業

小学校の通常学級で支援を必要とする児童が学校生活を円滑に送れるようにするため、河和小学校2名、そのほかの小学校には各1名を配置した。

(5) 情報教育

I C T環境を整備し、情報教育アドバイザーと連携して、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。

・ 情報教育アドバイザー派遣事業

小中学校にて情報教育の補助及び情報教育機器の維持管理を行った。

業務時間 384時間（小学校288時間、中学校80時間、学校教育課16時間）

・ 小中学校のコンピュータ設置状況

（単位：台）

学校名	パソコンルーム		職員室等			図書館	電子黒板	計
	児童用	教師用	デスクトップ	ノートPC	LAN配線	調べ学習用	ノートPC	
布土小	30	1	2	14	○	1	2	50
河和小	40	1	2	27	○	2	3	75
河和南部小	30	1	2	14	○	1	2	50
野間小	31	1	2	15	○	1	2	52
奥田小	30	1	2	13	○	1	2	49
上野間小	31	1	2	16	○	1	2	53
河和中	40	1	2	34	○	1	3	81
野間中	40	1	2	26	○	1	3	73
計	272	8	16	159		9	19	483

(6) 国際交流事業

① 美浜町フレンドシップ草の根国際交流（受入）

シンガポールよりイーミン小学校児童15名及び引率者3名が来町し、学校交流や田植え体験、塩作り体験などを通じて、日本の文化を体験した。受入れにあたり、ホストファミリー18家族により、温かいおもてなしをしていただいた。

期日 平成27年5月29日（金）～6月2日（水）

受入校 布土小学校、河和小学校、河和南部小学校

② 美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅inシンガポール2015（派遣）

町内の小学校5・6年生の児童17名及び中学生10名がフレンドシップ交流相手国シンガポールでホームステイや学校交流などを体験し、国際理解と相互交流の絆を深めた。

期日 平成27年8月21日（金）～8月26日（水）

訪問先 小学生：イーミン小学校、中学生：ニーアン中学校
シンガポール政府観光局及び日本人会を表敬訪問

③ 美浜町フレンドシップ草の根国際交流（受入）

シンガポールより、ニーアン中学校生徒15名及び引率者3名が来町し、学校交流や芋ほり、みかん狩り、イチゴ狩り、塩作り体験をした。また、日本福祉大学でのお茶や剣道の体験を通じて、日本の文化を体験した。受入れにあたっては、ホストファミリー18家族により、温かいおもてなしをしていただいた。

期日 平成27年11月13日（金）～11月16日（月）

受入校 野間中学校

2 学校運営

(1) 児童生徒の状況

(平成27年5月1日現在)

区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	教員
小学校	児童数	180	158	186	185	200	215	28	1,152	83
	学級数	7	8	7	7	8	7	9	53	
中学校	生徒数	215	220	226				15	676	50
	学級数	7	6	7				4	24	

(2) 主な営繕工事（100万円以上）

布土小学校	パソコン教室エアコン取替工事	1,870,300円
河和小学校	遊具整備工事	1,976,400円
河和南部小学校	遊具整備工事	1,985,040円
	体育館器具庫屋上防水工事	2,289,600円
奥田小学校	保健室エアコン取替工事	1,142,900円
上野間小学校	配膳室床改修工事	1,069,200円
河和中学校	プール濾過機濾材取替工事	1,296,000円
	保健室エアコン取替工事	1,155,600円
	給食リフト改修工事	1,911,600円

(3) 自然の家合宿

愛知県美浜少年自然の家において、両中学校合同で自然の家合宿活動を実施した。豊かな自然環境の中での規律ある生活を通じ、集団の一員であるという自覚を高めるとともに、人間的ふれあいを深め、集団生活の中から助け合いの精神と互いに尊重し合う態度を養った。

実施場所 美浜町小野浦 愛知県美浜少年自然の家
実施期間 平成27年5月9日（土）～5月10日（日）
対象学年 1年生

(4) 野外教育活動

① 小学校

親の保護から離れ、大自然の中で野営・飯ごう炊飯・キャンプファイヤー等、新しい経験の中で創意工夫と自主的な態度、責任感と協力の精神を育成することを目的に実施した。

実施場所 愛知県豊田市 旭高原元気村

実施期間	・野間小・上野間小	平成27年6月1日(月)～6月 2日(火)
	・河和小	平成27年6月2日(火)～6月 3日(水)
	・布土小・河南小	平成27年6月3日(水)～6月 4日(木)
	・奥田小	平成27年6月4日(木)～6月 5日(金)
	対象学年	5年生

② 中学校

大自然に学ぶ生活の中で自然に親しみ、自然を愛する心情を育てるとともに、互いに協力し、助け合い、友情の輪を広げる。また、迅速に行動し、約束や決まりを守り、規律ある生活を体験することができた。

実施場所	岐阜県郡上市	郡上八幡自然園
実施期間	・河和中学校	平成27年6月19日(金)～6月21日(日)
	・野間中学校	平成27年6月21日(日)～6月23日(火)
対象学年	2年生	

(5) 研究指定校による学校づくり

《あいち・出会いと体験の道場推進事業 / 県内全中学校》

愛知県が進めるキャリア教育の一環として、中学校の生徒が職場体験と事前・事後指導を通して、子どもたちが将来の生き方について真剣に考え、働くことや学ぶことへの意欲が向上することを目的に事業を実施した。

実施校	河和中学校・野間中学校
対象学年	2年生

第4 社会教育事業

1 社会教育委員会 (委員 9 人)

社会教育委員会の開催

社会教育に係る諸事業についての報告、各委員の意見交換を行った。

開催日	内 容	会 場
平成 27年4月24日	平成27年度社会教育事業計画及び予算について 社会教育委員活動について	生涯学習センター
27年9月 9日	平成27年度事業中間報告について 平成28年度事業計画についての意見交換会	生涯学習センター
28年2月24日	平成27年度事業報告について 平成28年度事業計画 (案) について	生涯学習センター

2 生涯学習センターの運営

(1) 生涯学習センター利用状況

研修室1～3	研修室4 (パソコルーム)	学習室 (多目的ルーム)	水野屋敷 (見学者含む)	合計
8,959人	3,429人	428人	768人	13,584人

(2) 生涯学習講座

① 子ども教室

(参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
マイはし作り教室	7/20	1	29人
木工教室「長イス作り」	7/29	2	20人
家族で手打ちうどんにチャレンジ!	7/30	1	39人
科学実験教室	8/18	1	30人
パソコン教室「あこがれのブラインドタッチ」	7/25. 8/8. 22. 29	4	38人

計算力アップ! そろばん教室 (対象 小学2年生)	12/23~27	5	131人
---------------------------	----------	---	------

② 一般教室・講座 (参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
朗読講座	6/6. 13. 20	3	45人
ライフプランニング講座	6/27. 7/4	2	41人
大人のパソコン教室「家計簿を作ってみませんか」	6/4~6/25	4	59人
〃 「家計簿を活かしたエクセルの使い方」	9/3~10/1	4	52人
ふるさと歴史教室「尾張藩と知多半島」	9/26~10/24	4	73人
飾り巻き寿司教室	9/19	1	6人
しめ縄作り教室	12/18	1	14人
権六遺跡発掘調査報告会	12/19	1	30人
書き初め教室	1/6	1	27人

③ マイプロデュース・マイスタディ講座

講座名	開催日	回数	参加者
練功18法 中国健康体操	5/26~6/9	3	78人
水彩スケッチ	6/3~8/5	3	25人
オリジナルムービーを作ろう	6/7~28	4	37人
機織りで作る喜び感じよう	6/20~10/3	5	30人
デジタル一眼レフ講座	6/27~9/26	4	29人
子どもの成長と色の関係	9/3~17	3	11人
誰でもできるスポーツ吹矢	10/20~11/17	4	98人
やさしい薬膳講習	10/6~12/1	5	45人

④ 共催事業 (参加者は延べ人数)

講座名	主催者	開催日	回数	参加者
マルトモ探検隊	知多半島ケーブルネットワーク(株)	7/18~8/8	3	9人

3 青少年教育

(1) 成人式

新成人による実行委員会の企画運営により式典を挙行了した。

① 実行委員会

委員 10人 (両校代表各5名)
 開催日 10/1~1/29 計9回
 会場 生涯学習センター、総合公園体育館

② 成人式

開催日 平成28年1月10日(日)13:30~
 会場 総合公園体育館
 該当者 260人 (男143人、女117人)
 参加者 203人 (男107人、女96人)
 内容
 ・式典
 ・記念行事 思い出のスライド、恩師を迎えて、抽選会
 ・写真撮影 東部西部の地区別によりメインアリーナで撮影
 ・記念品 記念写真

(2) 青少年健全育成

① 青少年健全育成推進大会

青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動の一環として家庭教育講演会、社会を明るくする運動推進大会との共催で開催した。

開催日 平成27年7月4日(土)9:45～

会場 総合公園体育館サブアリーナ

内容 ・第65回社会を明るくする運動総理大臣メッセージ
・少年の主張

河和中学校3年生 木下由唯さん「感謝すること、伝えること」

野間中学校3年生 奥村明日香さん「自ら発信する力」

・講演会

演題：「ピンチをチャンスに変える笑いのポジティブ・シンキング！」

講師：三遊亭究斗 氏（ミュージカル落語家）

参加者 410人

② 啓発活動

青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動及び子ども・若者育成支援県民運動の一環として、啓発活動を実施した。

開催日	活動場所
平成27年 7月 4日(土)	青少年健全育成推進大会会場（総合公園体育館）
平成27年 8月 1日(土)	美浜民踊まつり会場（総合公園センター広場）
平成27年10月25日(日)	美浜町文化祭会場（総合公園体育館）

③ 「家庭の日」普及事業

≪「家庭の日」県民運動啓発ポスターの募集≫

対象 小中学生

応募数 総数272点（小学生177点、中学生95点）

≪「家庭の日」ポスター作品展≫

期間 ・平成27年12月1日(火)～12月26日(土) 展示数 61点

・平成28年 2月2日(火)～ 2月28日(日) 展示数 6点(県入賞作品を含む)

会場 生涯学習センター

4 家庭教育

(1) 子育て支援交流事業

① 親子ふれあいひろば

乳幼児を持つ親が子育てネットワーク等との支援により、親子の遊びや交流活動をし、親同士の仲間づくりを図った。

開催日 平成27年5月20日(水)～平成28年3月16日(水) 全13回

会場 河和児童館ほか

対象 乳幼児（1歳半から2歳の子）とその親

参加者 延べ230組

内容 幼児救急法、色と遊ぼう、水遊び、お父さんと遊ぼう、思い出作品作り他

② 家庭教育講座

子どもの成長にあわせて、保護者を対象に子育ての学習講座を開催した。

○乳児期（すくすく子育て講座）

開催日	内容	参加者	会場
6/18	木のおもちゃで子育て！ ～よいおもちゃの選び方、与え方～	24組	子育て支援センター
2/4	入園・入学前の子どものしつけ	20組	
2/17	親子で遊ぼう！ふれあい遊び	30組	

○幼児期 保育所の行事に合わせて開催

開催日	内 容	参加者	会場
6/16	幼児安全法講習会	39人	布土保育所
6/19	子育てで大切なこと	112人	河和北保育所
6/23	「子供をダメにする何げないその一言」	26人	南部保育所
6/17	「子供の上手なほめ方叱り方」	31人	野間保育所
6/23	幼児安全法講習会	51人	奥田保育所
6/25	幼児安全法講習会	47人	上野間保育所

○思春期 中学校入学説明会に合わせて開催

開催日	内 容	参加者	会場
1/26	インターネット利用安全・安心講座 半田警察署生活安全課	250人	河和中学校
2/3	保護者のための体験！体感！スマホ教室 縁エキスパート(株)	87人	野間中学校

(2) 地域におけるふれあい活動事業（家庭教育推進事業）

① 美浜町家庭教育推進連絡会議（平成11年度発足）

美浜町の子どもたちの健全育成をめざして、町全域を対象に家庭教育の推進を図った。

主 題 「育てよう 思いやり 咲かせよう 信頼の輪」

開催日 年2回 平成27年6月18日（木）

平成28年2月24日（水）

取組内容 ・全町あげての「あいさつ運動」推進
・「みはまの教育・合い言葉」啓発
・家推協だより発行、青少年健全育成推進大会の共催

② 知多地区子育て支援地域交流会（愛知県教育委員会、知多教育事務所、知多地区家庭教育推進運営協議会主催）

開催日 平成27年11月28日（土）

会 場 常滑市民文化会館

参加者 421人（うち美浜町より20人参加）

内 容 ・子育て支援を考える交流会
・家庭教育を考える学習会
・講演会 演題「折れない心の育て方」
講師 麓 聡一郎 氏

③ 各青少年を守る（育てる）会の取り組み

小学校区ごとに、区・小学校・PTA・老人会等各種団体の役員が中心となって運営し、地区内すべての青少年を健全に育成するため、学区ハイキング、学区運動会、あいさつ運動等、様々な活動を展開した。

5 成人教育

(1) 高齢者学級「みはま寿大学」

60歳以上の方々がより健康で心豊かに生きがいのある楽しい生活を送るために、学習の機会を提供し仲間の交流を深めることを目的として開催した。参加者自らによる企画、自主運営に7回の講座を実施した。

在籍者数 合計 529人

〈内訳〉 東学級 250人

西学級 147人

野間学級 132人

参加者数 延べ1,132人

修了者数 108人(5回以上の出席者には修了証を授与)

開催日	内 容	回数	参加者
5/13	開校式 記念講演 「身も心も若くなる童謡講座Ⅱ」	1回	234人
6/2～12	「脳をいきいきさせましょうⅡ」	3回	170人
8/5～7	「落語に親しむ」	3回	152人
9/15.17	社会見学 京都（宇治平等院・伏見稲荷大社）	2回	169人
11/18	3学級合同講座「芸ひとすじ～笑いは健康のもと」	1回	163人
1/21～27	「心や体を気持ちよく、ぽかぽかさせましょう」	3回	123人
2/12	閉講式 記念講演 「ため池に支えられた知多半島の農業」	1回	121人

6 視聴覚教育

旧知多地方視聴覚ライブラリー協議会が所有していた視聴覚教材ソフト及び機器の貸し出しを行った。

〈実績〉16ミリ映写機貸出し 2回

7 文化振興事業

(1) 美浜町文化祭

美浜町文化協会文化部会（文芸部門、美術部門、手工芸部門、茶華道部門）が中心となり、企画運営をした。作品の展示を通して、町内の文化活動にいそしむ人々の交流を促進すると同時に、切磋琢磨の場として開催した。

開催日 平成27年10月24日（土）、25日（日）
 会 場 総合公園体育館メインアリーナ
 内 容 絵画、書、写真、手工芸、生け花、小中学生作品（習字・図画）等の展示
 入場者 約1,500人（両日計）
 出品数 51団体 1,084点、小学校（6校）、中学校（2校）
 その他 呈茶（茶華道部）＜利用者＞延べ約891人

(2) 美浜町芸能祭

美浜町文化協会芸能部会（芸能部門、音楽部門、ダンス部門）が中心となり企画運営をした。日頃楽しみ、研鑽している芸能を披露することにより、同好の人々やその他の人々との交流を深めたり、芸を一層高めたりする機会として開催した。

開催日 平成27年10月25日（日）
 会 場 総合公園体育館サブアリーナ
 内 容 民踊、日本舞踊、コーラス、民謡、詩吟、大正琴、ダンス、箏曲等
 観 客 約800人
 出演者 30団体 306人

(3) まちの音楽会〈町制60周年記念事業〉

町内を始め町周辺地域で、日頃から音楽活動を行っている音楽愛好者のグループや個人が、自ら音楽会を企画・開催することにより、他のグループ等との交流や日頃の成果を発表しあう機会を提供するために開催した。

また、参加グループ等の代表者と公募によるスタッフで構成する実行委員会による開催とし、人材の発掘と一層の音楽振興を図り、豊かな心の発展と地域リーダーの育成を図った。

本年は、町制60周年記念企画として出演者同士のコラボ演奏や半田スィンギングオーケストラをスペシャルゲストとして迎えた。

開催日 平成27年12月13日（日）
 会 場 総合公園体育館サブアリーナ
 出演者 フォーク、ポップス、合唱等11団体
 来場者 366人

(4) 美浜民踊まつり〈町制60周年記念事業〉

美浜音頭小唄保存会の企画運営により、ふるさとの民踊である美浜音頭、みはま小唄の良さを知ってもらうとともに、町民同士の心をつなぎ、連帯意識を高めるために開催した。

本年は、町制60周年を記念して、出店、アトラクション、抽選会を行った。

開催日 平成27年8月1日（土）
 会 場 総合公園センター広場
 来場者 550人

- (5) 春の文協まつり
美浜町文化協会会員による作品展示と芸の発表会を開催した。

① 文化展・生け花展

開催日 平成28年3月5日(土)・6日(日)
会場 総合公園体育館ロビー・廊下
内容 書・絵画・手工芸・写真・生け花等の展示
出品団体 文化展：11団体、生け花展10団体

② 芸能大会

開催日 平成28年3月6日(日)
会場 総合公園体育館サブアリーナ
内容 詩吟・民踊・日本舞踊・コーラス・ダンス等
入場者 500人
出演者 17団体

③ 呈茶

開催日 平成28年3月6日(日)
会場 総合公園体育館2階研修室
来場者 300人

第5 公民館事業

1 公民館管理

布土公民館 …… 指定管理者布土区に管理委託
河和南部公民館 …… 指定管理者河和南部区長会に管理委託
野間公民館 …… 指定管理者野間区長会に管理委託
奥田公民館 …… 指定管理者奥田北・中区に管理委託
上野間公民館 …… 指定管理者上野間区に管理委託

2 利用状況

公民館名	利用回数	利用人数	公民館利用登録団体	
			団体数	延人数
布土公民館	797回	13,810人	12団体	275人
河和南部公民館	113回	2,623人	4団体	79人
野間公民館	738回	10,628人	18団体	311人
奥田公民館	959回	14,108人	15団体	188人
上野間公民館	660回	8,530人	10団体	187人
合計	3,267回	49,699人	59団体	1,040人

《参考》河和港観光総合センター利用登録団体数 53団体(商工観光課調べ)

3 公民館活動

地区の公民館を拠点とした地域住民等による生涯学習活動の推進を図った。

(1) 野間公民館

(参加者は延べ人数)

講座名	期日	回数	対象	参加者
簡単アクリルタワシ作り	6/23	1	一般	18人
公民館清掃	7/12	1	一般	60人
ペットボトルロケットを飛ばそう	7/25, 8/1	2	親子	44人
歴史教室「野間郵便局旧局舎」	10/10	1	一般	57人
豚まん作り	10/17	1	一般・子ども	30人
合唱教室	12/5～2/20	7	一般・子ども	210人
公民館まつり	2/28	1	一般・子ども	400人

(2) 布土公民館

(参加者は延べ人数)

講座名	期日	回数	対象	参加者
芋栽培教室（苗植え・収穫）	5/26.9/16	2	小学1・2年・つつじ学級	104人
稲栽培（田植え・稲刈・脱穀）	6/10.10/20.29	3	小学5年と保護者	90人
そば打ち体験	8/6	1	一般	20人
ダンボールワンダーランド	8/25	1	小学生と保護者	16人
男性料理教室	11/13	1	一般男性	15人
オリジナルクリスマスケーキを作ろう	12/23	1	小学生の親子	6家族15人

(3) 奥田公民館

(参加者は延べ人数)

講座名	期日	回数	対象	参加者
奥田の歴史を知ろう	4/4.11	2	一般	98人
トールペイント体験講座	8/2	1	小学生と保護者	15人
木工組立て体験	8/23	1	小学生と保護者	21人
陶芸教室	10/3	1	一般	24人
親子でクリスマスケーキづくり	12/20	1	小学生と保護者	32人
うどん作りに挑戦しませんか	2/27	1	一般	21人

第6 文化財保護事業

1 文化財保護委員会と研修

(1) 文化財保護委員会

文化財の保存と活用に関し、文化財保護委員会を開催した。

開催日	内 容	会 場
平成27年5月29日	平成26年度文化財保護事業実績報告について 平成27年度文化財保護事業計画について	生涯学習センター
平成27年10月1日	千人塚の一部現状変更について 台風18号による「はりつけの松」被害状況報告	生涯学習センター

(2) 知多地方文化財保護委員会連絡協議会

市町文化財保護委員の知識向上のため上位組織による研修に参加した。

開催日	平成27年10月15日(水)
会 場	半田市福祉文化会館
内 容	研究発表「半田市の文化財～雲観寺の指定文化財を中心に～」 講 師 河合克己 氏（半田市文化財専門委員長文化財調査委員） 岩田敏也 氏（半田市文化財専門委員） 現地研修 天華山雲観寺

(3) 愛知県史跡整備市町村協議会

文化財保護行政に関する情報交換や行政手法の研修等に取り組む、現在、27市、9町、1村、合わせて37市町村が加入している。

本年度は、総会（7/30津島市文化会館）、尾張地区協議会（2/24長久手市役所）にそれぞれ参加した。

2 文化財保護事業等

本町に残されている貴重な文化財を保護及び周知するため各種の事業を展開した。

- (1) 資料整理
民具、文書等
- (2) 展示
 - ① 「道具と写真で振り返る美浜町の誕生の頃」 平成27年10月31日～11月29日
 - ② 「野間権六遺跡発掘調査報告展」 平成27年12月5日～20日
- (3) 教室・講座
 - ① 「野間権六遺跡発掘調査報告会」
講 師 愛知県埋蔵文化財センター 蔭山誠一
開催日 平成27年12月19日
参加者 30人
 - ② 「ふるさと歴史教室 尾張藩と知多半島」
講 師 日本福祉大学 曲田浩和、高部淑子、山形隆司
開催日 平成27年9月26日、10月3日、10日、24日（4日間）
参加者 24人
- (4) 埋蔵文化財包蔵地に係る事務
・有無照会 4件 ・工事立会 2件 ・試掘調査 0件
- (5) 文化財防火訓練
開催日 平成28年1月19日（火）
会 場 大御堂寺
内 容 野間保育所園児による防火啓発、通報訓練、消火器・消火栓訓練
参加者 96人
- (4) その他
 - ① 野間郵便局旧局舎 平成27年11月17日 国有形登録文化財登録
 - ② 河和海軍航空隊の説明看板設置（2か所）
正門跡 河和中学校正門西
滑走台跡 河和漁港
- (5) 施設維持管理
布土郷土資料室
水野屋敷記念館 利用者 39件 768人

第7 社会体育事業

1 スポーツ推進組織と活動状況

- (1) スポーツ推進委員会
年6回の定例会、行事に応じた臨時委員会等を開催し、スポーツ教室・大会の企画運営を行うとともに、住民スポーツ振興のための指導助言等を行った。また、各種研修に参加し、他市町委員との交流を図ると共に、資質向上に努めた。
 - ① スポーツ推進委員愛知大会
期 日 平成27年6月13日（土）
会 場 日本ガイシスポーツプラザ
 - ② 第10回3町スポーツ推進委員交流会
期 日 平成27年7月5日（日）
会 場 南知多町総合体育館
 - ③ 知多地区スポーツ推進委員交流会
期 日 平成27年8月22日（土）
会 場 東海市民体育館
 - ④ 愛知県スポーツ推進委員研修会
期 日 平成27年9月19日（土）

会 場 瀬戸市文化センター

⑤ 知多地区スポーツ推進委員研修会

期 日 平成28年1月16日（土）
会 場 総合公園体育館

⑥ 第63回東海四県スポーツ推進委員研究大会

期 日 平成28年2月19日（金）～20日（土）
会 場 静岡県熱海市

(2) 体育協会

社会体育行事の実施主体である体育協会に対して活動費を助成し、各種大会の開催及び運営にあたっていただいた。また、体育協会表彰規定に基づき、顕著な功績を収めた者に対して表彰を行ったほか、ふれ愛チャリティーゴルフの収益金を原資とする基金より激励金の交付を行うなど、本町のスポーツ振興に努めた。

また、町制施行60周年を記念して、体育協会各部による記念行事を開催した。

〈所属団体 13部98団体〉

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ・野球部 (8) | ・硬式テニス部 (4) |
| ・ソフトボール部 (15) | ・ソフトテニス部 (4) |
| ・サッカー部 (6) | ・グラウンド・ゴルフ部 (6) |
| ・6人制バレーボール部 (14) | ・太極拳部 (4) |
| ・9人制レディースバレーボール部 (4) | ・ペタンク部 (5) |
| ・バドミントン部 (6) | ・ゴルフ部 (8) |
| ・卓球部 (8) | |

〈町制60周年記念事業〉

① 野球部

記念60イニングマラソン野球大会平成27年8月22日（土）～23日（日） 総合公園グラウンド

② バドミントン部

記念バドミントン大会 平成27年9月27日（日） 総合公園体育館

③ 卓球部

四元奈生美・仲村錦治郎卓球指導者講習会・卓球座談講演会
平成28年3月13日（日） 総合公園体育館

④ ソフトテニス部

記念ソフトテニス大会 平成27年12月6日（日） 総合公園テニスコート

⑤ 中西哲生ジュニアサッカー教室

平成27年5月30日（土） 日本福祉大学第2グラウンド（人工芝）

⑥ NHKジュニア野球教室 平成27年6月7日（日） 日本福祉大学野球場

⑦ 名古屋グランパスエイトふれあいサッカー教室

平成27年9月20日（日） 総合公園グラウンド

⑧ NHK中日ドラゴンズ野球教室

平成27年12月23日（水） 総合公園グラウンド

(3) スポーツ少年団

11種目19団体のスポーツ少年団に対して活動費を助成し、小中学生のスポーツ振興に努めた。

〈所属団体〉

- | | |
|-----------|---------------|
| ・剣道 (2) | ・ソフトボール (3) |
| ・柔道 (1) | ・サッカー (1) |
| ・空手道 (2) | ・バスケットボール (1) |
| ・日本拳法 (1) | ・バレーボール (1) |
| ・卓球 (3) | ・ハンドボール (1) |
| ・軟式野球 (3) | |

2 スポーツ大会の開催

スポーツ及びレクリエーションの大会を通じ、健康と体力の保持・増進を図ることを目的に開催した。

(1) 町制60周年記念岡本綾子杯第26回美浜町民ふれ愛チャリティーゴルフ大会

期 日 平成27年7月6日（月）

会 場 新南愛知カントリークラブ 美浜コース
参加者 118人

(2) 町制60周年記念第17回美浜町ふれ愛ペタンク大会

期 日 平成27年9月23日 (水)
会 場 総合公園グランド
参加者 188人

(3) 第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

期 日 平成27年12月5日 (土)
会 場 愛・地球博記念公園
参加者 監督、コーチ、選手18人
成 績 町村の部 第9位
町村の部区間賞 第2区 西嶋雄伸

(4) 美浜スポーツ・レクリエーション祭2015

期 日 平成27年12月20日 (日)
会 場 総合公園体育館アリーナ
内 容 ミニテニス・カローリング・スナッグゴルフ
参加者 150人

(5) 町制60周年記念第30回美浜タウンマラソン

期 日 平成28年1月17日 (日)
会 場 総合公園体育館周辺
参加者 931人(申込者1,042人)

(6) 美浜町ソフトバレーボール大会

期 日 平成28年3月27日 (日)
会 場 総合公園体育館アリーナ
参加者 18チーム 86人

3 トレーニング室運営事業

体格・体力を測定し、個人評価を基に効果的なトレーニング方法の指導を図るため、トレーナーをトレーニング室に配置した。また、正しく、安全に機器が取り扱えるよう週2回の利用者講習会を開催した。

・講習会受講者数 308人 ・年間利用者数 延べ 10,214人

4 学校開放施設(スポーツ施設)の利用状況

町内小中学校の体育館・柔剣道場及びグランドをスポーツ団体に一般開放した。

〈学校別利用団体数及び年間利用者数〉

・布土小学校	7団体 4,596人	・奥田小学校	9団体 5,367人
・河和小学校	8団体 6,469人	・上野間小学校	11団体 5,405人
・河和南部小学校	6団体 2,409人	・河和中学校	7団体 2,768人
・野間小学校	7団体 5,425人	・野間中学校	13団体 7,355人

5 社会体育施設等の利用状況

・総合公園体育館 101,777人 (トレーニング室利用者含まず。)
・総合公園グランド 24,340人
・総合公園テニスコート 9,838人
・第2町民グランド 2,614人
・野間中グランドナイター 1,111人

第8 図書館運営事業

1 美浜町図書館協議会

開 催 日 平成27年7月9日 (木)
協議事項 ・平成26年度の実績報告について
・美浜町図書館の現況について
・平成27年度事業計画について

2 図書館の現況

・平成28年3月31日現在の蔵書数	150,903点
・平成27年度貸出人数	44,575人
・平成27年度貸出点数	195,091点
・平成27年度資料購入点数	5,096点
・平成27年度来館者数	88,968人

3 図書館活動

心を育む館として、町民の豊かで充実した暮らしの一助になるような利用をされる図書館を目指して、幼児から高齢者までの幅広い要求に応えられる資料の充実や読み聞かせ等の各種事業を実施した。

(1) 読書週間イベントの開催

○子ども読書週間行事（子ども読書週間4月23日～5月12日）

・ぬいぐるみおとまり会

平成27年4月25日（土） 参加者15人（15体）

・日本福祉大学児童文化部「あかとんぼ」による人形劇
「魔法をすてたマジョリン」

平成27年4月26日（日） 参加者 保護者14人、子ども26人

○読書週間行事（読書週間10月27日～11月9日）

・読書通帳チャレンジ！60冊〈平成27年10月1日～12月25日〉

町制60周年を記念し、60冊の本を読んで通帳がいっぱいになった方に、達成証明と記念品を贈呈した。

小中学校には、秋の図書館だよりと一緒に読書通帳を配布したほか、館内においてもチャレンジ希望者に配布した。

達成者数 22人（こども12人、一般10人）

・古本リサイクル市（平成27年10月10日～29日）

家庭で不要となった本を集め、必要な方に持ち帰っていただいた。

配布冊数 1,598冊

配布人数 331人

・ぶつくふれんず特別おはなし会〈平成27年10月17日（土）〉

読み聞かせ、虫の工作、虫のブックトークを行った。

参加者 大人13人 子ども21人

・除籍雑誌の無料配布〈平成27年10月31日～11月8日〉

図書館で除籍の雑誌を無料配布しました。

除籍対象 3年を超えた雑誌 80タイトル 975冊

10年を超えた雑誌 1タイトル 49冊

配布冊数 724冊

配布人数 179人

・DVD上映会〈平成27年12月6日（日）〉

美浜町にもゆかりのある新美南吉の童話のDVDの鑑賞会を開催した。

参加者 大人5人 子ども4人

(2) 保育所・小中学校との連携

・ブックトーク（随時）

図書館運営指導員等が、町内の小学校に出向いて、テーマに沿った本を紹介し、読書意欲の喚起を図った。

平成27年7月2日～7日 上野間小学校全学年

平成27年9月16、18日 河和南部小学校 3.4.5.6年

平成27年9月18日 布土小学校4年生「新美南吉ブックトーク」

平成27年10月6日 奥田小学校4年生「新美南吉ブックトーク」

平成27年10月7、28日 野間小学校全学年「朝の読書タイム」

平成27年10月16日 奥田小学校3年生

平成27年11月17日 河和南部小学校4年生「新美南吉ブックトーク」

平成27年11月20日 奥田小学校6年生「宮沢賢治ブックトーク」

平成27年12月18日 野間小学校6年生「宮沢賢治ブックトーク」

・図書館見学（5月～7月）

町内及び隣接町の小学生が図書館を見学した。

平成27年5月28日	布土小学校3年生	22人
平成27年6月9日	河和南部小学校3年生	18人
平成27年6月11日	野間小学校3年生	23人
平成27年6月12日・17日	河和小学校3年生	79人
平成27年6月30日	奥田小学校3年生	26人
平成27年7月1日	上野間小学校3年生	27人
平成27年10月23日	南知多町立日間賀小学校3年生	
平成28年1月20日	南知多町立師崎小学校3年生	

・職場体験学習

町内中学校2年生及び県立半田農業高校生徒が図書館で職場体験を行った。

平成27年8月4日・5日	野間中学校2年生	4人
平成27年8月6～8日	河和中学校2年生	4人
平成27年8月18～20日	半田農業高校2年生	4人

町内小学生の図書館司書体験希望者の受け入れをした。

平成27年8月26日 参加 町内小学生6人

・ぐるぐるサービス

保育園・小中学校への貸出資料の集配（毎週水曜日）
実施回数 29回 実施場所 59か所

・中学生の調べ学習〈10月～11月〉

館内にて河和中学校1年生の調べ学習の成果を展示した。

・読書感想画展〈平成28年1月30日～2月25日〉

町内小中学生の作品80点をギャラリーに展示した。

・年長児絵画展

町内6保育所及び知多大和幼稚園の年長児の絵画作品を展示した。

平成27年6月6日～7月2日	上野間保育所
平成27年7月4日～30日	布土保育所
平成27年8月1日～27日	南部保育所
平成27年8月29日～10月1日	奥田保育所
平成27年10月3日～29日	知多大和幼稚園
平成27年10月31日～11月26日	河和北保育所 青組
平成28年1月9日～2月4日	河和北保育所 緑組
平成28年2月5日～28日	野間保育所

(3) 日本福祉大学図書館との連携

平成22年4月1日より町図書館と日本福祉大学図書館との間で相互貸借を実施している。
〈実績〉 貸出 0件 借入 2件（4冊）

(4) ブックスタート事業「はじめまして絵本」

平成23年度に、美浜町図書館開館10周年を記念して始めたブックスタート「はじめまして絵本」事業を平成27年度も引き続き実施した。

保護者に本を介して子どもと楽しいひとときを感じてもらい、心安らぐ子育ての時間を持つきっかけを作り、また、親子とも本への関心を深めることにより、将来にわたり、図書館の利用率を高めるため、平成27年、26年生まれの子を対象としてその保護者に絵本をプレゼントした。

〈実績〉 4か月 73人 1歳半 76人 合計149人

(5) おはなし会の開催

読み聞かせボランティア団体（海の子文庫、空とぶじゅうたん、ぶっくふれんず）及び図書館職員による本、紙芝居の読み聞かせを館内のお話のへやで、毎週木曜日と土曜日に開催した。

開催回数 98回 参加者延べ人数：1,932人

- (6) 各種講座・行事
- ・読書感想文講座 平成27年7月5日・12日
参加者 小学生4・5年生とその保護者 10組
 - ・楽しく学ぶ！新聞講座 平成27年11月1日
中学生以上を対象に現役の新聞編集者による講座を開催した。
講師 原 葉子氏（中日新聞編集局整理部デスク）
参加者 20人
 - ・極小折鶴・連鶴展 平成28年1月9日～11日
展示ギャラリーにて江間充祐氏の作品の展示並びに折り紙体験を開催した。
 - ・大人の折り紙講座 平成28年1月16日
講師 豊丘折り紙クラブ 滝本二三子氏
参加者 15人
- (7) 愛知県図書館共同事業
- ・フェアブル没後100年事業（平成27年8月29日～10月29日）
館内児童コーナーに掲示する虫のぬり絵募集（平成27年8月11日～10月17日）
ぬり絵掲示（平成27年8月29日～10月30日）
フェアブルに関する本及び虫の本を集めた特設コーナー設定
 - ・徳川家康没後400年事業（平成27年11月1日～12月26日）
徳川家康に関する本を集めた特設コーナー設定

第9 学校給食センター管理運営事業

1 給食センター運営委員会

- 開催日 平成27年6月24日（水）
協議事項 給食センターの管理・運営の現状について

2 学校給食の状況

学校給食は、児童生徒の心身の健全な育成を目指し、学校給食法に基づいた学校教育の一環として、栄養のバランスを配慮した安全で衛生的な食事の提供を行った。
また、児童生徒に栄養教諭・学校栄養職員が行う、食に関する指導を通して、良き人間関係の育成と食事のマナーの習得についても意識させた。

(1) 学校給食対象校及び給食数（平成27年度末基本食数）

小学校	6校	1,253人
中学校	2校	722人
(給食センター)		17人
計	8校	1,992人

(2) 年間給食回数 192回（8校平均）

(3) 延べ給食数 361,703食

(4) 給食1食当りの費用内訳（消費税及び地方消費税含む）

区分	主食代	牛乳代	副食代	計
小学校	52円05銭	50円74銭	127円21銭	230円
中学校	60円77銭	50円74銭	148円49銭	260円

(5) 給食費の収納

小・中学校及び給食センター、学校教育課が協力連携し収納事務を円滑に処理するため、美浜町学校給食費収納要領（平成23年4月1日施行）を制定した。

- ・平成27年度給食費未納額 82,660円（累計144,680円）

3 食に関する指導

(1) 全体指導

食に関する基本的な知識や、心身ともに健康な生活を送るため、学校給食法の目標を達成できるよう栄養指導等を行った。

① 特別活動（学級活動）

児童生徒の食への関心を高め、健康の自己管理能力を育成するために行った。

計60学級実施

対象学年	指導内容

小学校 1年生	給食の秘密を知ろう
2年生	野菜を食べよう
3年生	魚を食べよう
4年生	バランスよく食べよう
5年生	米を見直そう
6年生	食生活を見直そう
中学校 1年生	朝食の大切さを知ろう
2年生	カルシウムをしっかりとろう
3年生	考えて作ろう 選ぼう 私の昼食

② 心を育む学校給食週間

豊かで思いやりの心をもつ生徒を育成するねらいで行った。

③ 愛知を食べる学校給食

地場産物への理解や環境に配慮することのできる児童生徒を育成する目的で、毎月19日の「食育の日」に行った。

④ 学校給食週間

「地元を受け継がれた産物を味わおう！－発酵食品を使った和食－」をテーマとして、知多半島では醸造業が古くから地域に根差している。調味料をはじめとする発酵食品や地元の産物を使い、食べ物やそれに関わる人々に感謝する心、郷土を愛する心を育めるように行った。

⑤ 卒業祝い給食（小学校6年生・中学校3年生）・セレクト給食（全児童生徒）

料理を選択する楽しみをもたせ、仲間と楽しく会食することを目的に行った。

(2) 個別指導

食に関わる個々の児童生徒の状況に則した指導を行うことで、充実した学校生活を送れるよう配慮した。

① 食物アレルギーをもつ児童生徒とその保護者への指導

該当児童生徒とその保護者に面談を行い、使用食材の詳細資料を配付した。また、食材や調味料の一部を除去した調理を行った。

② 肥満傾向児童への指導

食事を含む生活習慣の改善を図るため、該当児童生徒とその保護者を対象に食事指導や生活指導を行った。

③ 学校・地域への指導

児童生徒及び保護者が食への関心を高め、家庭で望ましい食習慣が形成されることを目的として行った。

(3) 家庭・保護者との連携啓発

食育を推進するため、家庭と連携するとともに啓発を行った。

内容

学校保健委員会	町内小中学校2～3回
料理教室	夏休み親子料理教室 7月28日(火)
学校給食試食会	町内全小学校
献立表、食育・給食だより	(献)毎月、(食)毎月、(給)学期に1回

Ⅶ 総合評価

平成27年度当初に計画した事業を予定どおり実行できたことにより、教育委員会を活性化することができました。

平成27年度美浜町教育委員会重点努力目標についても、7項目の目標が達成でき、平成28年度につなげることができました。

総合計画及び努力目標に示された事項だけでなく、委員が参加できる各種委員会、協議会には委員全員が積極的に参加し、会議の活性化を図ることができました。

また、「みはまの教育・合い言葉」の推進も努力目標に示して、委員自らがあいさつの中で啓発し、その普及に努めました。

本町教育委員会は、平成27年3月末日をもって前教育長山田道夫氏が辞職されたことにより、本年4月1日から、新教育委員会制度へと移行することとなりました。これにより、委員長職が廃止され、その委員長の職務権限を併せ持つ「新教育長」として山本 敬氏（前野間小学校長）が就任され、教育委員会の舵取りが行われることとなりました。

また、これまで懸案となっておりました教育委員が空白となる学区の解消を図るため10月1日以降におきましては、全小学校区より教育委員が選任されました。これにより教育委員会組織は、専任教育長及び6人の委員により構成されることとなり、新たな体制で今後の本町の教育を担っていくこととなりました。

また、今回の法律改正により、首長が主宰する総合教育会議の設置が義務付けられ、これまで委員会としては計画の提案のみにとどまっていたものが、予算編成権及び条例制定権を持つ首長との直接協議を行うことで、より実現の可能性を帯びることとなりました。

少子高齢化が進展する中、平成25年11月に改定されました第5次美浜町総合計画において「人が学び合い、育ちあうまちづくり」の実現に向けて掲げている施策の中から、美浜町として喫緊の課題として対応すべき目標を掲げ、今後の本町教育はどうあるべきなのかを首長ともども真剣に考え、その実現に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えております。

評価者

美浜町教育委員会

教育長	山本 敬
職務代理	石田さへ子
委員	加藤 信
委員	川上 英雄
委員	中野 俊夫
委員	樋口 和子
委員	石垣由貴子

Ⅶ 点検評価委員による評価

山田 道夫 委員（前美浜町教育委員会教育長）

今日の教育課題は、社会の変化に伴い子どもたちの学力に関わる問題だけでなく、子どもを取り巻く安全な環境づくりやいじめや不登校などの生徒指導上の対策、さらには食育の推進、特別支援教育の充実、国際化やIT化の進む社会に向けた対応など多岐にわたっています。教育委員会は、今まで以上に教育行政の担い手として重要な役割を果たしていくことが求められています。

美浜町教育委員会は、全国に先駆け平成27年度より新教育委員会制度の導入を図り、地域の課題やあるべき方向を見据え、町民の願いを反映した教育行政に向けて一層努力されたことは誠に心強く思います。

以下、評価委員として感じたことを述べたいと思います。

① 新教育委員会制度への移行について

4月1日に教育委員会の最高責任者としての山本敬新教育長が就任するとともに、10月からは2名増員され6名になられた各委員の役割分担や意識改革など、さぞお忙しい1年だったことと思います。美浜町教育委員会の特筆すべき点は、それぞれの委員が地域に根差し、レイマンコントロールの意義を理解して積極的に多くの各種行事に参加されていることです。今後もその思いを継続され、教育委員会の活性化を図っていただきたいと思います。また、本年より開催されることとなった総合教育会議では、予算の編成・執行権を有している町長と正式な場で教育における重要な課題を協議・調整することができるようになりました。第2回の総合教育会議で美浜町における喫緊の課題である児童生徒数の減少に伴う今後の小中学校のあり方について取り上げられたことは大変意義のあることだと思います。今後も10年先を展望し継続的に協議するとともに、保護者や地域住民への理解も深めていってください。

② 学校教育全般について

特別支援学級スクールアシスタント、通常学級スクールアシスタント事業など一人一人の児童の特性に対応したきめ細やかな指導ができるように努力されています。そのことがひいては学級全体、学校全体の落ち着きにつながり、全員が豊かな学校生活を送れる要因になっているものと思います。また、本年8月に次期学習指導要領の素案が発表されました。その内容をみると英語教育の強化や思考力や表現力を主体的に学ぶアクティブラーニングの重視など先行き不透明な社会の変化に対応する能力の育成に重点を置いています。現場の教師が改定時にあわてず、自信をもって指導できるように漸次、研修の機会をもつ必要を感じます。一方、学習環境づくりの面では限られた予算の中で計画的に新設・修繕が行われていることがうかがえます。少子化による学校の統廃合の問題もありますが、学校の施設は地域の防災拠点の役割を果たしていることも考慮して、多角的な視野で計画・実行していってください。

③ 社会教育全般などについて

美浜スポーツクラブの参加者の増加や、マイプロデュース・マイスタディ講座数の増加など多くの工夫と努力がみられます。長年の懸案事項であった奥田公民館活動も開始しました。美浜町民にはまだ生涯学習について消極的な面もありますが、積極的に自ら学ぼう

としている人も多くいます。そういう人たちを核にして町全体の文化の向上が図られることを期待しています。また、昨年度は町制60周年に合わせて町の音楽会や美浜民踊まつり、各種スポーツイベントなど多くの記念行事が行われました。こうした機会を通して多くの町民が文化やスポーツに触れ合うことができたことは大変良かったと思います。

伊藤ふき子 委員（元美浜町教育委員会委員）

新教育委員会制度に移行した最初の年となりました。各方面からの新制度への期待も大きく、教育委員会への注目度もますます高まっています。

この期待に応えるために、美浜町教育委員会は他の市町に誇れる独自性を発揮しながら、各分野で成果を上げられますよう期待します。

以下、頂きました報告書に関しまして感じたことを述べさせていただきます。

① 総合教育会議

教育に関する予算の編成、執行や条例提案など重要な権限を有している町長と共に教育行政を進めなければならないと思います。

本町における近々の課題として、児童生徒数減少にともなう小中学校の今後のあり方についても、このスタンスで進めて頂きたい。

② 教育委員定数

5人から6人になり、各学区に教育委員がおかれまして。このことにより、各教育委員は地元の要望をきめ細かく収集し、対応することができるようになることを期待しております。

③ 社会教育事業

事業の1つとして、マイプロデュース・マイスタディ講座が行われています。

これは自分の得意なことを活かし、教えたい方が自ら企画・運営する、住民主役の講座です。趣味・嗜好が多様化している現代にふさわしい方法だと思います。さらに充実発展させて頂きたい。

④ 図書館事業

美浜町図書館は、知多半島では最高の魅力を有する図書館であると思います。

さらに魅力を高めるためにぬいぐるみお泊り会、読書通帳チャレンジ、ブックトークなど工夫を凝らした取組みにチャレンジされていることを高く評価したいと思います。

最後に、子供一人ひとりの成長を見守ることができるよう、保健センター、保育所・幼稚園、小学校・中学校の連携強化を図って頂けるようお願いしたい。